



入院患者へのケアカンファレンス実施割合

病棟におけるケアカンファレンスとは、医療を提供する関連スタッフが、情報の共有や共通理解を図ったり、問題解決を図る為に開催される会議の事です。

本指標では退院患者の内、医師を含む3種以上の職種にて行われたカンファレンスを集計しています結果は、毎年増加傾向にあります。当院では「医師」「看護師」「リハビリ」が主となってカンファレンス対象患者をリストアップし、開催しています。参加者には上記3職種以外に「ケアマネージャー」「患者・家族」「栄養士」「薬剤師」「退院先サービス事業所職員」などが含まれます。

今年度は急性期病棟でのカンファレンスの実施件数が減少し、結果として低い実施率となりました。

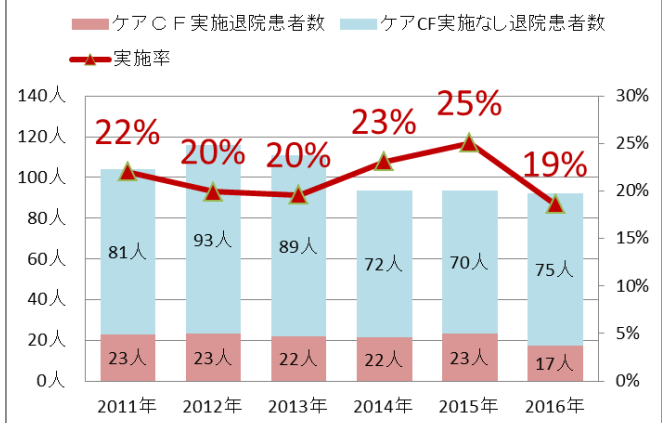
回復期リハ患者に対しては、週一回のADLカンファレンスを行い、リハ効果向上の為、他職種で取組み、在宅へのスムーズ移行につなげています。

また、3階急性期病棟では、疾患や家庭での介護環境、経済状況から退院先がなかなか決まらない患者が多くいらっしゃいます。本年3階急性期病棟では、退院後の介護サービス事業者や施設職員、患者、家族、と医師、看護師、リハビリ職員による合同カンファレンスの質を向上させ、適切な退院支援につなげる取組を行いました。また、カンファレンスとは別に困難事例検討会を実施し、看護師と医療ソーシャル

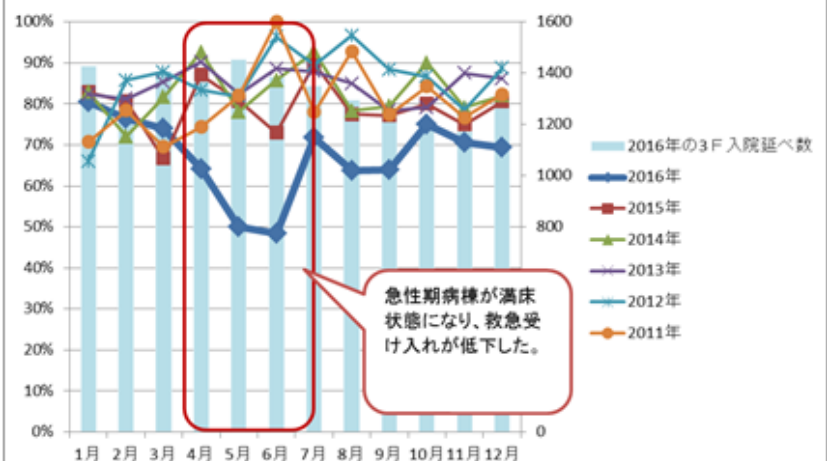
入院患者へのケアカンファレンス実施割合

分子	内、退院患者の内、医師を含む3種以上の職種にてカンファレンスが行われた患者数
分母	退院患者の内4日以上入院患者数
表示	月平均

退院患者におけるケアカンファレンスの実施割合(年間集計) カンファレンス実施患者/退院患者



救急車受け入れ割合(月推移)



ルワーカーが連携し、早期に退院支援を実施していく取組も始めました。

本年 4～7 月、3階急性期病棟で退院先未決定による入院期間の延長から急性期病棟の満床状況が続き、それによって救急患者の受け入れ率が低下してしまいました。

しかし、その後の取り組みによって、退院支援を行った結果、病棟の受け入れ状況が安定し、救急受け入れ率が向上しました。

年間で評価を行っても、3階急性期病棟での合同カンファレンスが退院支援につながった事を評価する指標「急性期病棟での合同カンファレンス後の 2 週間以内退院割合」は昨年から向上しており、質の向上に繋がりました。

一般急性期病棟における合同カンファレンス後の2週間以内退院状況

分子	内、合同カンファレンス後2週間以内退院した患者数
分母	一般急性期病棟にて合同カンファレンスを実施した患者
表示	月平均

